



■活動日：2022年09月24日（木） 9：00～12：00

■参加者：チーム神於山 正会員 9名

■活動内容

- ・今回の活動では、フクロウの巣箱用に竹の切り出しをして架設場所の木の根元まで運び込みました。巣箱に産座のワラ敷いたり、巣箱カメラ保護ボックス補修したりと、次回活動日の架設に向け準備が整いました。
- ・その他に、新しいシイタケの楯木の天地返し（上下の入れ替え）と、エンジンが掛かり難くなっていた刈払い機の点検と、始動時のコツの確認が行えました。
- ・ムササビの効率的な観察の為、WiFi とソーラーパネル付きのトレイルカメラを 1 台試験的に購入し、機能確認をする事になりました。至急調達し次回活動で架設します。
- ・参加頂いた 9 名の皆さん。本当にお疲れ様でした。

■次回の活動

- ・次回（10月8日）は、フクロウ・ムササビの巣箱架設です。

フクロウの巣箱用の竹の切り出しと運び上げ

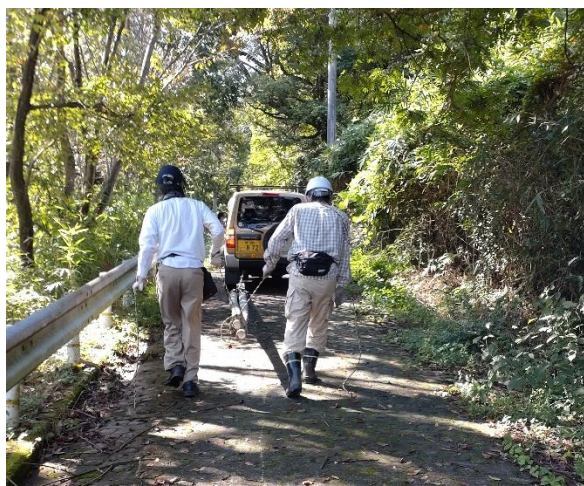


左；  
切り倒した竹は、  
巣箱を 5mの高さ  
に架けるので、  
6mに切り揃えました。



右；  
竹林は坂が急な  
ので3人がかりで  
林道まで運び上  
げました。

林道は車を利用して運び上げ



上部入り口までは、竹を車にロープで括り付けて林道を引き上げました。

竹 2 本を架設場所に運び込み



次回活動で、竹に巣箱を取り付け、引き起こして、固定すれば架設完了です。



## その他



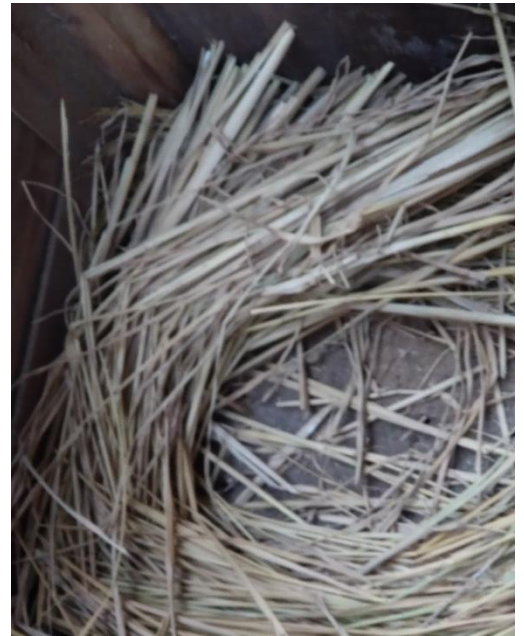
一番新しいシイタケの樽木の、上下を入れ替える天地返しを行いました。



刈払い機のカバーを外してアクセルケーブルを調整したところ、アイドリング時にも回転が安定しました。

エンジン始動のコツ  
1.ロープを手首で引いて引っ掛かりを感じてから引く事、  
2.ロープを長く引きすぎない(胸まで)事でした。

## 参座

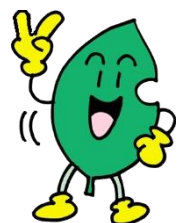


巣箱の底に丸めて置いたワラ。この後にもう半束追加して底面全体にワラを敷き詰めました。  
フクロウは自分で産座を作らない為、人工の底が平らな巣箱には必須です。

活動頂いた9名のメンバーの皆さんお疲れさまでした。



暑い中の活動、お疲れさまでした。



以上